

平成28年度 認定中心市街地活性化基本計画のフォローアップに関する報告

平成29年5月

久慈市（岩手県）

○計画期間：平成26年4月～平成31年3月（5年）

I. 中心市街地全体に係る評価

1. 平成28年度終了時点（平成29年3月31日時点）の中心市街地の概況

第1期久慈市中心市街地活性化基本計画（平成19年5月～平成25年3月）に基づく取組により、やませ土風館（観光交流センター、物産館等）及び県立久慈病院跡地の整備、巽山公園・小鳩公園の改修が行われた結果、中心市街地に新しい観光・交流拠点が形成され、1期計画以前に比べ「まち」の賑わいが大きく高まった。

平成23年3月に発生した東日本大震災の影響により観光客が激減するとともに、商店主による自主的なイベント開催の中止・自粛から、中心市街地の賑わいが著しく低下したが、当地域が主要なロケ地となり、平成25年4月に放送が始まったNHKの連続テレビ小説「あまちゃん」効果により、やませ土風館への入込数をはじめ、市内全体の観光客数が飛躍的に増加し、その結果、中心市街地においても活性化が図られたところである。平成25年度のピークに比べ、観光客数は減少傾向にあるものの、震災前の平成22年度を上回る水準を維持している。

また、平成25年5月に「三陸復興国立公園」の指定を受けたことから、北三陸の玄関口として観光誘客に大きく貢献している。

このような状況の中、第2期計画の核事業に位置付けている久慈駅前広場整備事業及び複合施設整備事業について、平成28年度に事業着手し、完了予定である平成30年度末に向けて順次、設計業務等を進めていた矢先の平成28年8月30日に台風第10号が直撃し、市内全域が甚大な被害を受けた。特に、中心市街地の被害が大きく、多数の店舗、事業所等が休業し、一部廃業を余儀なくされるなど、大きな経済損失が発生するとともに、市外からの訪問者が減少したが、店舗、事業所等の再建にあたっては、国県の支援を受け、中心市街地の復旧は進んできており、また、中心市街地への来訪者を取り戻し、交流人口の回復を図るため、やませ土風館を中心とした各種イベントの実施など、各種の取組を実施している。

久慈駅前広場整備事業及び複合施設整備事業については、台風第10号被害の影響により、業務の一時的な中断を余儀なくされ、平成30年度末の完了は非常に困難な状況にあるが、やませ土風館との連携による中心市街地全体の賑わい創出という事業効果の早期発現のため、1日でも早い完了を目指し、鋭意、取り組んでいく。

2. 平成28年度取組等に対する中心市街地活性化協議会の意見

第2期計画の期間も中間点を折り返したが、各種ソフト事業については、関係機関が連携し着実に実施されている。しかし、昨年8月に当地を襲った台風第10号による水害により、中心市街地は大きな被害を受け、長期休業の影響から、未だに客離れによる売上の低下に悩む店舗も散見されるなど、本格的な復旧・復興には至っていない状況であり、中心市街地活性化事業の更なる推進が求められている。特に第2期計画の中核的事业である久慈駅前広場整備事業及び複合施設

設整備事業については、大きな事業効果も期待されることから、計画に沿った事業の着実な推進が求められる。

II. 目標毎のフォローアップ結果

1. 目標達成の見通し

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値	前回の見通し	今回の見通し
やませ土風館の集客力を高め、商店街への波及効果を促進する	やませ土風館・複合施設の利用者数	773,659 人 (H24)	858,000 人 (H30)	688,087 人 (H28)	①	①
やませ土風館の集客力を高め、商店街への波及効果を促進する	やませ土風館の商品販売額	504 百万円 (H24)	512 百万円 (H30)	579 百万円 (H28)	①	①
駅前地区の再生により中心市街地全体の回遊を達成する	歩行者・自転車通行量	5,508 人 (H24)	5,514 人 (H30)	3,615 人 (H28)	③	③
社会増減人口の減少に歯止めをかけ、定住性を向上させる	中心市街地定住人口に係る社会増減数	△74 人 (H19～24)	+2 人 (H26～30)	△111 人 (H26～28)	③	④

<取組の進捗状況及び目標達成に関する見通しの分類>

- ①取組（事業等）の進捗状況が順調であり、目標達成可能であると見込まれる。
- ②取組の進捗状況は概ね予定どおりだが、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。
- ③取組の進捗状況は予定どおりではないものの、目標達成可能と見込まれ、引き続き最大限努力していく。
- ④取組の進捗に支障が生じているなど、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。

2. 目標達成見通しの理由

「やませ土風館・複合施設の利用者数」については、台風第 10 号被害を受けたこと、秋祭りを中止したことが大きく影響し、やませ土風館の利用者数が第 2 期計画の開始以降、初めて基準値を下回ったものの、平成 29 年度以降は基準値の水準に回復することが予想されることや、複合施設の整備により目標達成可能であると見込まれる。今後も観光交流センター魅力向上事業や、あまちゃんハウス運営事業の継続等により、利用者数の増加を見込む。

「やませ土風館の商品販売額」については、台風第 10 号被害に伴う利用者数の減少により前年度より減ったものの、目標値を上回っている。今後も商店街との連携により集客を図り、商品販売額の増加を見込む。

「歩行者・自転車通行量」については、NHK連続テレビ小説「あまちゃん」効果が薄れる中、徒歩による中心市街地の回遊者が減っていることに加え、通行量調査が、台風第 10 号被害の影響が大きく残る 10 月実施となったこともあり、大幅な減となった。今後は、久慈駅前広場整備による観光バス駐車効果による増加を見込むとともに、駅前コンシェルジュ設置事業の継続のほか、商店会連合会が空き店舗を改修整備した交流スペースの活用効果などにより、通行量の増加を見込む。

「中心市街地定住人口に係る社会増減数」については、市全体の人口減少もあり、平成 26～28 年度の累計で△111 人と目標の+2 人と比べ非常に厳しい結果となっている。今後は、街なか空き家バンク事業及び街なか居住促進事業の更なる周知や、中心市街地に住みたくなる環境づくりに努めるとともに、今後、新たな対策を検討する必要がある。

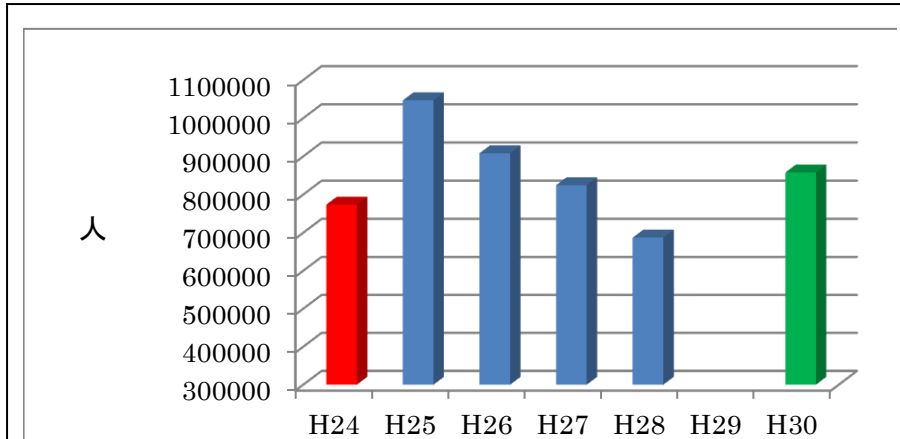
3. 前回のフォローアップと見通しが変わった場合の理由

「中心市街地定住人口に係る社会増減数」については、平成 27 年度フォローアップにおいては、取組の進捗状況は予定どおりではないものの、街なか空き家バンク事業及び街なか居住促進事業の更なる周知や、中心市街地に住みたくなる環境づくりに努めることで目標達成可能 (③) と見込んでいたが、市全体の人口減少傾向に伴い、中心市街地の人口が増となる兆しが見えないことから④と評価した。

4. 目標指標毎のフォローアップ結果

「やませ土風館・複合施設の利用者数」※目標設定の考え方基本計画 P53～P58 参照

●調査結果の推移



年	(人)
H24	773,659 (基準年値)
H25	1,046,763
H26	908,082
H27	824,592
H28	688,087
H29	
H30	858,000 (目標値)

※調査方法：レジ及びカウンターによる計測

※調査月：平成29年4月

※調査主体：施設の指定管理者

※調査対象：施設の利用者

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 複合施設整備事業（久慈市）

事業完了時期	平成30年度【実施中】
事業概要	久慈駅前に図書館、地域交流センター及び観光交流センターの機能を有する複合施設を整備する。
事業効果及び進捗状況	平成28年度に事業着手し、不動産鑑定業務、移転補償費算定業務等を実施した。平成29年度は用地補償業務を進めるとともに、建築設計を実施する。

②. 観光交流センター魅力向上事業（民間）

事業完了時期	平成20年度～【実施中】
事業概要	観光交流センター「風の館」における定期イベントの開催及び観光PR活動を実施する。
事業効果及び進捗状況	観光及び特産品の情報発信や、屋外イベント及び市民カルチャー講座の開催等（平成28年度は延べ8,015名の参加）により、やませ土風館の利用者増が図られ、中心市街地の賑わいの創出と一層の活性化に寄与している。

③. あまちゃんハウス運営事業（久慈市）

事業完了時期	平成26年度～【実施中】
事業概要	NHK連続テレビ小説「あまちゃん」関連グッズの展示や販売を行う。
事業効果及び進捗状況	平成28年度は、台風第10号被害により一時的に休館したものの、20,512名の来場者があり、観光誘客による中心市街地の活性化に寄与している。

④. みちのく潮風トレイル回遊事業（久慈市）

事業完了時期	平成 26 年度～【実施中】
事業概要	みちのく潮風トレイル枝線を活用し、中心市街地の通過によるウォークイベントを開催する。
事業効果及び進捗状況	三陸復興国立公園の指定に伴い、平成 28 年度は 81 名の参加者が中心市街地を回遊し、中心市街地の活性化に寄与している。

●目標達成の見通し及び今後の対策

やませ土風館の利用者数については、台風第 10 号被害や、秋祭りを中止したことが大きく影響し基準値を下回ったものの、平成 29 年度以降は基準値の水準に回復することが予想される。

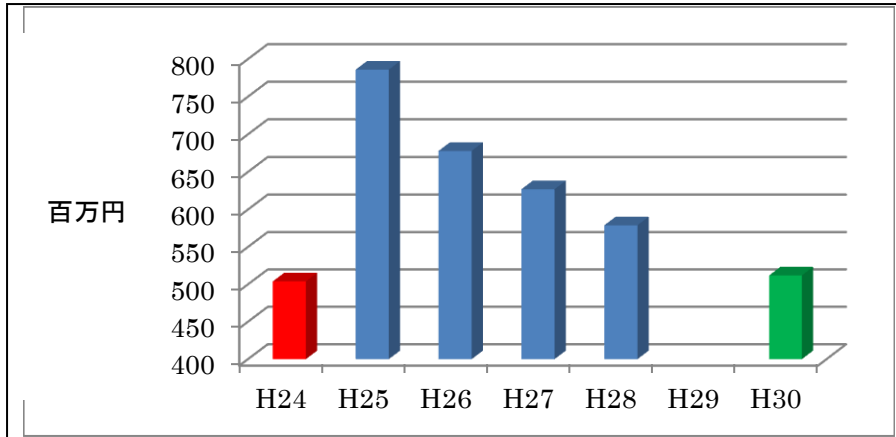
今後は、「あまちゃん」や三陸復興国立公園を最大限に活かした各種の取組のほか、複合施設の整備により、目標達成可能だと思われる。

今後は、複合施設の早期完成を目指し、利用者の更なる増加を図りたい。

4. 目標指標毎のフォローアップ結果

「やませ土風館の商品販売額」※目標設定の考え方基本計画 P58～P61 参照

●調査結果の推移



年	(百万円)
H24	504 (基準年値)
H25	786
H26	678
H27	627
H28	579
H29	
H30	512 (目標値)

※調査方法：やませ土風館内の各店舗の商品販売額を集計

※調査月：平成 29 年 4 月

※調査主体：(株)街の駅くじ

※調査対象：やませ土風館の商品販売額

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 成功店モデル創出・波及事業（久慈商工会議所）

事業完了時期	平成 21 年度～【実施中】
事業概要	コンサルタントによる個店指導及びサークル研修を開催する。
事業効果及び進捗状況	商店街を形成する個店の魅力向上、商店街の活性化手法の習得に向け、成功店の成果を意欲ある商業者を通じ広く波及させることにより、魅力ある商店街の形成に寄与している。平成 28 年度は 4 店舗が参加した。

②. 商業活性化アドバイザー活用事業（久慈市中心市街地活性化協議会）

事業完了時期	平成 19 年度～【実施中】
事業概要	アドバイザー派遣制度を活用し、イベントやサービスなど商業者の自主的な活動を支援する。
事業効果及び進捗状況	商店街の活性化を図るためには、イベントやサービスなど商業者の自主的な活動も必要であり、専門家のアドバイスにより活動が活発化し、中心市街地の活性化に寄与している。

③. 空き店舗対策チャレンジショップ事業（久慈商工会議所）

事業完了時期	平成 14 年度～【実施中】
事業概要	新規開業者等が空き店舗にチャレンジショップを開設する際、店舗賃借料の 2/3 を助成する。
事業効果及び進捗状況	中心市街地に散見される空き店舗を解消し、商業担い手の育成に寄与している。平成 28 年度は 2 件の実績があった。

④. 「北三陸・あまちゃん市」事業（民間）

事業完了時期	平成 25 年度～【実施中】
事業概要	「市日」と連携し、毎月 18 日に各個店がお買い得セールを実施するとともに、景品の当たる抽選会を実施する。平成 27 年度からは「まちなか・ありがとう市」に改称。
事業効果及び進捗状況	多くのお客で賑わう「市日」と連携することで、商店街への波及効果をもたらし、中心市街地への賑わい創出に寄与している。

●目標達成の見通し及び今後の対策

やませ土風館の利用者数については、台風第 10 号被害や、秋祭りを中止したことが大きく影響し基準値を下回ったものの、平成 29 年度以降は基準値の水準に回復することが予想される。

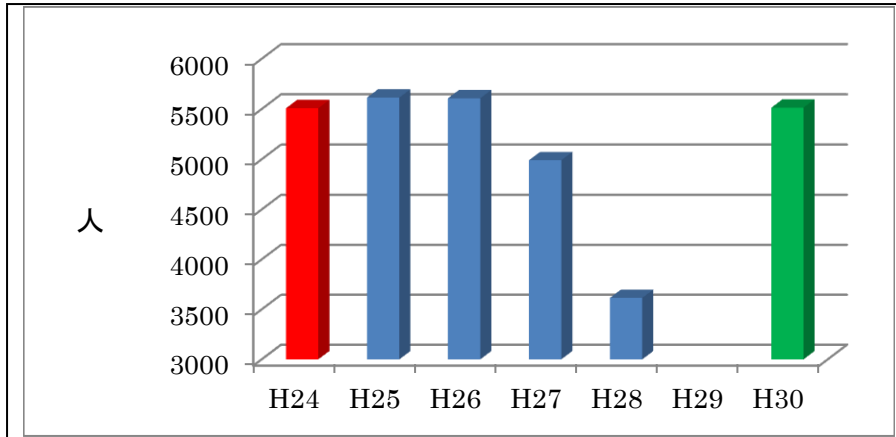
今後は、「あまちゃん」や三陸復興国立公園を最大限に活かした各種の取組により、やませ土風館へ観光客等呼び込むことで、年間商品販売額に関する目標達成は可能だと思われる。

今後は、駅前に整備する複合施設を核とした駅前拠点とやませ土風館の連携を図り、賑わいを商店街へと波及させ、中心市街地全体の販売額の維持・増進を目指していきたい。

4. 目標指標毎のフォローアップ結果

「歩行者・自転車通行量」※目標設定の考え方基本計画 P61～P64 参照

●調査結果の推移



年	人
H24	5,508 (基準年値)
H25	5,614
H26	5,607
H27	4,990
H28	3,615
H29	
H30	5,514 (目標値)

※調査方法：歩行者・自転車通行量調査

※調査月：平成28年10月

※調査主体：久慈商工会議所

※調査対象：歩行者及び自転車通行者、市内6地点の合計（平日・休日の平均）

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 久慈駅前広場整備事業（久慈市）

事業完了時期	平成29年度【実施中】
事業概要	久慈駅前交通広場の拡大及びイベント広場の新設を行う。
事業効果及び進捗状況	平成28年度に事業着手し、設計業務を進めている。平成29年度は工事に着手し、年度内の完成に向け事業を進める。

②. 路線バス運行事業（久慈市）

事業完了時期	平成20年度～【実施中】
事業概要	JRバス廃止路線への市民バスの運行を行う。
事業効果及び進捗状況	来街者の交通・アクセス面での利便性向上に寄与している。

③. 街なか回遊性向上事業（久慈商工会議所）

事業完了時期	平成22年度～【実施中】
事業概要	市民のニーズに適応した効果的な集客イベントを開催する。
事業効果及び進捗状況	集客イベントは、日々変化する様々な世代のニーズに的確に対応することが重要であり、効果的なイベント企画により、中心市街地の魅力づくりと、歩行者・自転車通行量の増加による賑わいに創出に寄与している。

④. 駅前コンシェルジュ設置事業（三陸鉄道株式会社）

事業完了時期	平成23年度～【実施中】
事業概要	三陸鉄道久慈駅に案内人を設置し、各種の情報提供と駅前の賑わい創出のためのイベントを実施する。

事業効果及び
進捗状況

鉄道利用者の視点に立った細やかなサービスを提供することによって、本市へのリピート率を高め、交流人口の増加と合わせて歩行者・自転車通行量の増加による賑わいに創出に寄与している。

●目標達成の見通し及び今後の対策

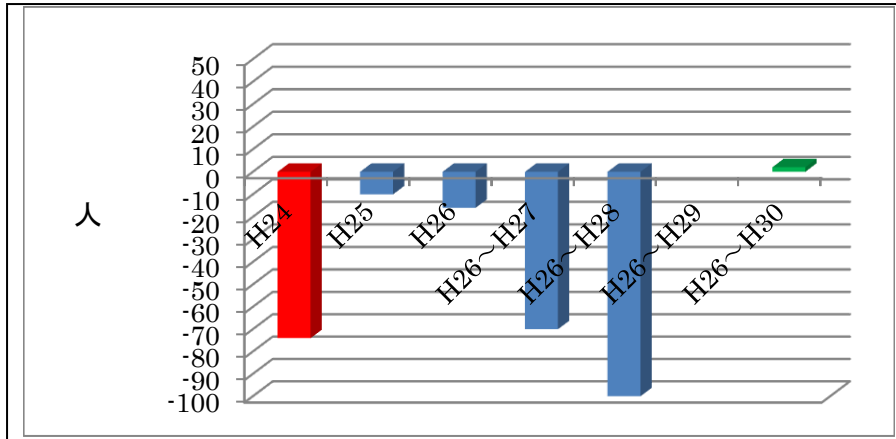
「あまちゃん」効果や、三陸鉄道のイベント効果等により増加していた駅前を訪問する観光客は、「あまちゃん」効果が薄れる中、徒歩による中心市街地の回遊者が減っていることに加え、台風第10号被害の影響により、歩行者・自転車通行量は大幅に減少した。

今後は、久慈駅前広場整備による観光バス駐車効果による増加を見込むとともに、商店会連合会が空き店舗を改修整備した交流スペースの活用効果により、中心市街地全体の回遊性向上を促進していきたい。

4. 目標指標毎のフォローアップ結果

「中心市街地定住人口に係る社会増減数」※目標設定の考え方基本計画 P64～P66 参照

●調査結果の推移



※調査方法：区域内人口に係る自然増減数を把握し、社会増減数を算出

※調査月：平成29年3月末時点

※調査主体：久慈市

※調査対象：中心市街地内居住者

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 太陽光発電システム整備事業（久慈市）

事業完了時期	平成26年度【済】
事業概要	地域防災計画で避難場所に位置付ける、やませ土風館に太陽光発電システムを設置する。
事業効果及び進捗状況	中心市街地に住む住民の避難場所として、災害時には電力の確保対策として機能することから、住民が安心して住むことができる環境づくりに寄与している。

②. 街なか空き家バンク事業（久慈市、民間）

事業完了時期	平成26年度～【実施中】
事業概要	中心市街地内にあるアパートや借家の情報を収集し、それぞれの物件の特徴について広く情報を提供する。
事業効果及び進捗状況	Webなどで情報提供を行い、中心市街地内の物件の選択を促し、定住人口の確保に寄与している。

③. 街なか居住促進事業（久慈市）

事業完了時期	平成20年度～【実施中】
事業概要	中心市街地外居住者が中心市街地内に住宅を新築し移り住む際、または賃貸住宅を新築する際に助成する。
事業効果及び進捗状況	中心市街地における人口、世帯数減少の課題解決、定住人口の確保に寄与している。平成28年度は1件の実績があった。

●目標達成の見通し及び今後の対策

平成28年度は、街なか居住促進事業の活用による定住が1件に留まるなど、定住人口の大きな増にはつながっていない。

今後は、街なか空き家バンク事業及び街なか居住促進事業の更なる周知を行い、事業の活用

を促すとともに、駅前整備の早期完成を目指すなど、中心市街地全体の魅力向上により、中心市街地に住みたくなる環境づくりに努め、居住者の増加を図るよう努力するとともに、今後、新たな対策を検討する必要がある。